

## 2. 事項別主要コメント

### ( 1 ) 日系研修全般について

1. 日系社会の人材育成と日本語教育の面で重要な制度である。日系社会の活性化に結びつけたい。( ブラジル事務所 )
2. 日系人支援事業の中で日系研修は重要な目玉。( 同 上 )
3. 受入人数をふやしてほしい。( J K 日伯文化協会 )
4. 60才以上も受入れてほしい。( 同 上 )
5. 日系研修は有意義なので続けてほしいが、行ける人がいるかは問題。( 同上 )
6. 日系団体一汎アマゾン協会に業務委託している。事務局長とベレン支所長が候補者に面接する。( ベレン支所 )
7. 募集要項をポルトガル語に翻訳している。( 同 上 )
8. 募集ポスターを作る予定。( アルゼンティン事務所 )
9. “ 日系人 ” の範囲はどこまでか？( ブラジル事務所 )

### ( 2 ) 日系人と日系団体

1. 医師、旅行代理業などの都市型の職業が出て来ている。( ベレン支所 )
2. 医者と弁護士は約500人いる。( アルゼンティン事務所 )
3. 団体の運営は1世から2世に移った。役員の6割が2世。4年前に会議を日本語からポルトガル語に変えた。( ベレン、汎アマゾン日伯協会 )
4. “ 日系 ” 団体というだけで惹きつけることはできない。単に日系ということだけでなく、なにか魅力のあることを提供しないといけない。日本の文化、伝統、スポーツを看板とした会社のような形に変わってゆく。( 同 上 )
5. 若い人達の中で、日系団体のメンバーになる人が少ない。( ベレン支所 )
6. 日系人のルーツが異なり、日系団体間のまとまりがない。  
( アルゼンティン事務所 )
7. 1世の勤勉さや正直さのお陰で、この国の日本人観は大変良い。

( アルゼンティン、CENTRO-NIKKEI )

### ( 3 ) 出稼ぎ、経済状況

1. 出稼ぎ者も、母国に戻る前提で日系研修制度の中で考えてやってほしい。

( ブラジル事務所 )

2. 出稼ぎ青年については、また行くのではないかと、今まではねていたが、今は差別しない方向で考える。( ベレン支所 )

3. 日本への出稼ぎが多くなって、農業がつづけられなくなっている。( 同 上 )

4. 30～35才の人達が子連れで日本に行っている。( ベレン、日伯援護協会 )

5. 不況である。花は価格が安く抑えられている。クリーニング業は、大手チェーンに圧されて苦しく、後継者がいない。( アルゼンティン事務所 )

### ( 4 ) 日本語教育の状況

1. 1世と2世の間で、日本語を維持したい気持ちに差がある。( ベレン支所 )

2. 子供達は、日本語学習の必要性を感じていない。( 日亜学院 )

3. 生徒数が少なくなり、日本語学校の経営はむずかしい。

( ベレン、汎アマゾン日伯協会 )

4. 日本語学習者は、日系人は減って非日系人が増えている。( 同 上 )

5. 成人クラス170名中、日系人の割合は1割。アルゼンティンで日本に対する関心が高まった。( 日亜学院 )

6. 幼-小-中学部は、日系70%、中国系20%( 同 上 )

7. 日本語学校の経営は苦しい。食べてゆくのが精一杯で、後継者の育成にまで手が回らない。( ベレン、帰国研修員 )

8. シニア・ボランティアが配属されている。JICAの援助で、17校中14校に日本語の授業用コンピューターを備えた。( ベレン、日本語普及センター )

9. 生徒は3、4世なので、国語教育から外国語教育に変えないといけない。

( 在亜日本語教育連合会 )

10.アルゼンティンでは、1世教師は数名のみで、残りは2世。( 同 上 )

#### ( 5 ) 日本語研修

1.日本語教師研修の基礎Ⅰ、Ⅱ、応用の枠組みはとても良い。

( 在亜日本語教育連合会 )

2.基礎Ⅰと基礎Ⅱは、現地で研修をしてから日本で仕上げをしたい。

( ブラジリア日本語普及協会 )

3.はじめて研修参加する応用コース研修員は、現地で教えてから日本へ送る。

( 同 上 )

4.サンパウロとベレンの日本語普及センターとブラジリア日本語モデル校が、上記現地研修を行なう。また、これら3ヶ所はブラジルにおける日本語教育の活性化の中核になりたい。( 同 上 )

5.基礎Ⅰと基礎Ⅱは、若手教師の減少で応募者が少ない。応用コースは、ほとんどの教師が研修参加ずみで応募は少数。( ベレン支所 )

6.日本語教師研修対象者のほとんどは参加ずみ。

( サルバドール、バイヤ日伯文化協会連合会 )

7.日本語教師研修は対象者をひと回りした。再研修までを4、5年でなく3年に変えてほしい。( 在亜日本語教育連合会 )

8.日本語教師研修の有資格者なのに未参加である理由は、仕事の都合というのが多い。( サルバドール、バイヤ日伯文化協会連合会 )

9.日本語補完研修は役立つ。とくに日本語に不安を持つ研修員にとって良い。

( ベレン、汎アマゾン日伯協会 )

10.日本語専修は応募者が少数。( ベレン支所 )

11.受入通知から訪日までの期間が短い。( バイヤ日伯文化協会連合会 )

#### ( 6 ) 日本語学校生徒 ( 中学生 ) 研修

- 1.この研修を目標や励みに、日本語を勉強する生徒は多い。( ブラジル事務所 )
- 2.学校と地域社会にインパクトを与えている。( 同 上 )
- 3.地域に対象校が 7 校あって、送りたい生徒が多い。同じ学校が続かないように、学校順に推薦している。( JK 日伯文化協会 )
- 4.枠 4 名に 7 ～ 8 名の応募があり、絞るのが困難。枠を増やしてほしい。  
( ベレン支所 )
- 5.3 名枠だが、1 名増やしてほしい。( 在亜日本語教育連合会 )
- 6.つづけてほしい。( 同 上 )
- 7.過去の参加者が現在どうしているか調べてほしい。予算措置もお願いする。  
( ブラジル事務所 )

#### ( 7 ) 新規研修コース等要望

- 1.研修で学んだ技術や知識は、よく活かされている。研修を通じて得た人とのつながりも、情報収集等に役立てている。  
( アルゼンティン、園芸総合試験場 )
- 2.花の栽培農家をたくさん見学した。短期間だが大変参考になった。  
( アルゼンティン、帰国研修員 )
- 3.花栽培の実習がなく見学だけだったが、十分勉強になった。仕事があるので可能なのは 4 5 日間までだ。しかし、若い後継者等は、栽培の 1 サイクルが勉強できる 1 年間で効果的。( 同 上 )
- 4.福祉制度は貧弱。老人関係の福祉と日本語教育分野の協力が望ましい。  
( アルゼンティン事務所 )
- 5.農協、花の栽培と販売、老人看護の研修コースを実施してもらいたい。なお、農協は全農、花栽培は園芸試験場の国内委員会、老人介護は大阪の社会福祉法人寿光会に相談してはどうか。( 同 上 )

6.在宅看護と花栽培と販売の研修をやってほしい。(在亜日系団体連合会)

7.在宅介護やリハビリなど、寝たきり老人関連の研修が良い。

(アルゼンティン、日系福祉協会)

8.国内で花の栽培技術を学ぶ機会がないので、日本での研修が望まれる。

(アルゼンティン、日系帰国研修員同窓会役員)

9.花の市場は、一定の低い値段に抑えられていて、状況は生産者にきびしい。

農協コースで流通も勉強したい。

(アルゼンティン、日系帰国研修員同窓会会長)

10.日本の以前の農協の仕組みや制度は、アルゼンティンで応用性がある。

(アルゼンティン、領事)

11.現在の農協は、手数料を取って協同出荷をするだけなので、日本の農協研修

は参考になる。(アルゼンティン、園芸総合試験場)

12.組織運営に明るい人材が少ない。JICA研修で養成してくれないか？

(アルゼンティン、在亜日系団体連合会)

#### (8) 日系帰国研修員同窓会

1.まだ組織されていない。作る熱意は強くない。(ブラジル事務所)

2.すでにある。年に2回、総会を開いている。(アルゼンティン事務所)